

# 無線ルータのRV0xxシリーズVPNルータへのカスケード

## 目的

ルータをカスケードしてネットワークを拡張できます。カスケードルータとは、単に1つのルータを別のルータに接続することを意味します。ルータを追加すると、有線デバイスがインターネットにアクセスできるポートが増えたり、無線ルータを追加すると無線クライアントの数が増えたりします。カスケード接続では、プライマリルータとセカンダリルータがあります。プライマリルータは、モデムまたはISPに直接接続するルータです。この記事では、RV120W (セカンダリルータ) をRV0xxシリーズVPNルータ (プライマリルータ) に接続します。

ルータをカスケード接続するには、次の2つの方法があります。

1. VPNルータのイーサネットケーブルをワイヤレスルータの通常のイーサネットポート (LAN-LAN) に接続します。両方のルータが同じサブネット上にある。
2. VPNルータからワイヤレスルータのインターネットポート (LAN-WAN) にイーサネットケーブルを接続します。ルータは異なるサブネット上に存在する。

この記事では、ワイヤレスルータをRV0xx VPNルータ (RV082/RV042/RV042G) にカスケードする方法について説明します。

## 適用可能なデバイス

- ・ RV042
- ・ RV042G
- ・ RV082
- ・ RV120W

## [Software Version]

- ・ v4.2.2.08 (VPNルータ用)
- ・ 1.0.2.6 (RV120Wワイヤレスルータ用)

# LANポート(LAN-LAN)を介したVPNルータへのRV120Wのカスケード

ステップ 1 : RV120Wのルータ設定ユーティリティにログインし、Networking > LAN (Local Network) > IPv4 LANの順に選択します。IPv4 LAN (ローカルネットワーク) ページが開きます。

## IPv4 LAN (Local Network)

### Network

Host Name:

### LAN (Local Network) Configuration

IP Address:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

Subnet Mask:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

### DHCP

DHCP Mode:

Domain Name:

Starting IP Address:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

Ending IP Address:  (XXX.XXX.XXX.XXX)

Primary DNS Server:  (Optional)

Secondary DNS Server:  (Optional)

Lease Time:  Hours (Range: 1 - 262800, Default: 24)

Relay Gateway:

### LAN (Local Network) Proxy

DNS Proxy:  Enable

ステップ 2 : ルータのIPアドレスを変更して、VPNルータのIPアドレスと同じにならないようにします。これら2つのIPアドレスは、同じサブネットに存在する必要があります。IPアドレスを変更して同じサブネットに残すには、IPアドレスの最後の番号だけを変更することをお勧めします。

注 : ネットワークに割り当てられたサブネットによっては、これは同じサブネットではない

場合があります。

### IPv4 LAN (Local Network)

**Network**

Host Name:

**LAN (Local Network) Configuration**

IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Subnet Mask:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

**DHCP**

DHCP Mode:

Domain Name:

Starting IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Ending IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Primary DNS Server:  (Optional)

Secondary DNS Server:  (Optional)

Lease Time:  Hours (Range: 1 - 262800, Default: 24)

Relay Gateway:

**LAN (Local Network) Proxy**

DNS Proxy:  Enable

ステップ 3 : DHCP Mode ドロップダウンリストから DHCP サーバモード None を選択します。

## IPv4 LAN (Local Network)

### Network

Host Name:

### LAN (Local Network) Configuration

IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Subnet Mask:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

### DHCP

DHCP Mode:  ▼

Domain Name:

Starting IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Ending IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Primary DNS Server:  (Optional)

Secondary DNS Server:  (Optional)

Lease Time:  Hours (Range: 1 - 262800, Default: 24)

Relay Gateway:

### LAN (Local Network) Proxy

DNS Proxy:  Enable

ステップ 4 : [Save] をクリックして、設定を保存します。変更が保存されると、ルータはリブートします。

ステップ 5 : Networking > Routing > Routing Modeの順に選択します。Routing Modeページが開きます。

# Routing Mode

Mode:  Gateway (NAT)  
 Router

Save

Cancel

手順 6 : ModeフィールドのRouterオプションボタンをクリックします。

# Routing Mode

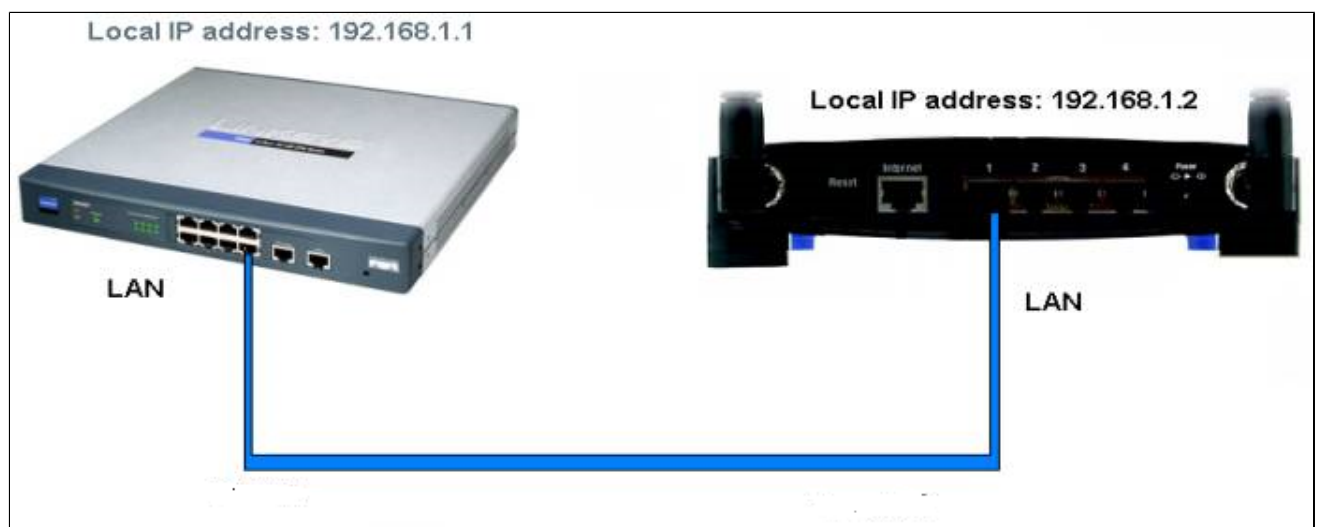
Mode:  Gateway (NAT)  
 Router

Save

Cancel

手順 7 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

ステップ 8 : イーサネットケーブルを使用して、RV0XXシリーズVPNルータのローカルポートをRV120Wの任意のローカルポートに接続します。



注 : どちらかのルータに接続されたPCから両方のルータのGUIにアクセスできる場合、ルータは正常にカスケードされます。

# WANポート(LAN-WAN)経由でのVPNルータへのRV120Wのカスケード

ステップ 1 : RV120Wのルータ設定ユーティリティにログインし、Networking > LAN > IPv4 LANの順に選択します。IPv4 LAN ( ローカルネットワーク ) ページが開きます。

## IPv4 LAN (Local Network)

**Network**

Host Name:

**LAN (Local Network) Configuration**

IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Subnet Mask:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

**DHCP**

DHCP Mode:

Domain Name:

Starting IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Ending IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Primary DNS Server:  (Optional)

Secondary DNS Server:  (Optional)

Lease Time:  Hours (Range: 1 - 262800, Default: 24)

Relay Gateway:

**LAN (Local Network) Proxy**

DNS Proxy:  Enable



ステップ 2 : ルータのIPアドレスを変更して、VPNルータのIPアドレスと同じサブネットにないようにします。IPアドレスの2番目から最後の番号を変更して、ルータを別のサブネットに変更することを推奨します。

注 : ネットワークに割り当てられたサブネットによっては、異なるサブネットではない場合があります。

### IPv4 LAN (Local Network)

**Network**

Host Name:

**LAN (Local Network) Configuration**

IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Subnet Mask:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

**DHCP**

DHCP Mode:

Domain Name:

Starting IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Ending IP Address:  (xxx.xxx.xxx.xxx)

Primary DNS Server:  (Optional)

Secondary DNS Server:  (Optional)

Lease Time:  Hours (Range: 1 - 262800, Default: 24)

Relay Gateway:

**LAN (Local Network) Proxy**

DNS Proxy:  Enable

ステップ 3 : [Save] をクリックして、設定を保存します。

ステップ 4 : RV0XXシリーズVPNルータのLANポートからワイヤレスルータのWANポートにイーサネットケーブルを接続します。



注 : この時点で、PCがセカンダリルータに接続されている間は、PCからプライマリルータのGUIにアクセスできません。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。